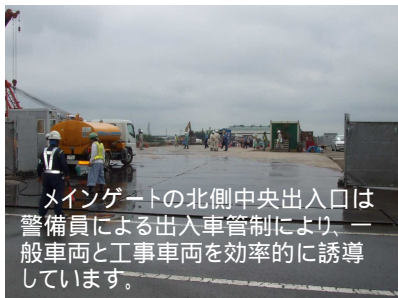




梅雨が明けたとたん連日30 超の猛暑が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。
7月よりいよいよ工事が始まり、夢が現実のものとなる日が1日1日近づいてきます。今回から移転新築情報紙も「こちら現場!!」とリニューアルして、建設現場の近況をお伝えしていきます。

工事現場案内

建設地は中田原工業団地の北東の角です。敷地は約7.1ha、外周約1.1kmあり、仮囲いをするのも、草刈や整地を含めると10日間以上を要するという大変広大な面積です。
工事のメインゲートは北側中央とし、将来救急車の出入口となる予定の場所です。

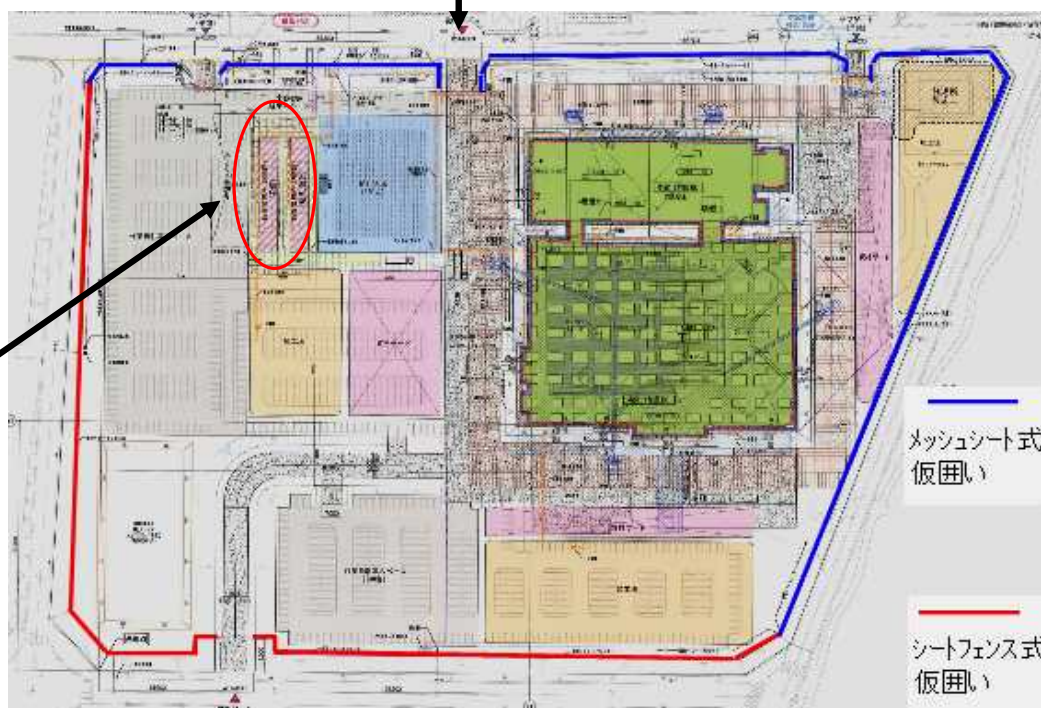


メインゲートの北側中央出入口は警備員による出入車管制により、一般車両と工事車両を効率的に誘導しています。

また、工事車両の現場通行帯には鉄板を溶接し、隙間なく敷き詰め、砂塵の防止を図り、更に定期的に散水車による散水で、立ち上る土埃もシャットアウトしています。



現場事務所



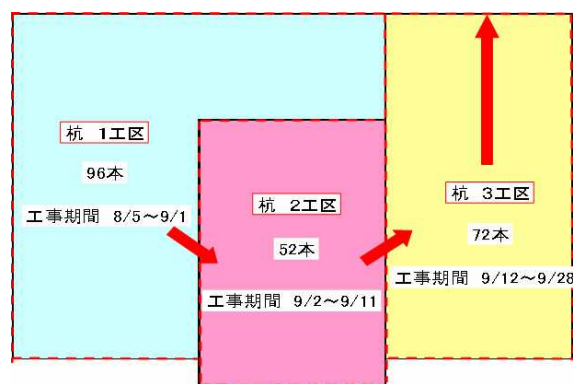
1次掘削現場



8月5日(火曜日)免震棟の杭工事に先立ち試験杭施工が行われた。
写真は杭を打ち込むための掘削機、クレーン、ショベルカー。



杭工事は今後、免震棟の建設予定地を下の図のように進め、9月28日までに合計220本打設します。これにより堅牢な地盤の上に免震ピットをセットする用意の1歩が完了します。



現場事務所の建方も急ピッチで進んでいます。2階建2棟ができる予定で、設計監理者の(株)横河建築設計事務所をはじめ、建設工事JV、電気工事JV、機械設備工事JVと、建設に携わる全ての関係者が入ります。

夏季休暇(17日まで)明けよりの入居を目指しておりますが、このところの猛暑は容赦しらずで、熱中症対策応急キットも準備されています。



検査済の杭



掘削ヘッド

